

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【公開番号】特開2012-72157(P2012-72157A)

【公開日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-015

【出願番号】特願2011-242133(P2011-242133)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 0 7 K 14/575 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 39/39 Z N A

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 15/08

A 6 1 P 43/00 1 0 5

C 0 7 K 7/06

C 0 7 K 14/575

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

イオン性多糖成分およびサポニン成分からなり、そのサポニン成分が免疫賦活複合体である、アジュバント組成物。

【請求項 2】

イオン性多糖がイオン性デキストランである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

イオン性デキストランが D E A E デキストランである、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

免疫賦活複合体が無タンパク質免疫賦活複合体である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

免疫賦活複合体がQuil A、コレステロールおよびリン脂質からなる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

イオン性多糖成分対免疫賦活複合体成分の質量比が 50 ~ 300 の範囲、好ましくは 100 ~ 140 の範囲である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

質量比が約 125 である、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

D E A E デキストラン約 10 mg および免疫賦活複合体約 80 μg からなる、請求項

1 に記載の組成物。

【請求項 9】

D E A E デキストラン約 1 0 0 m g および免疫賦活複合体約 8 0 0 μ g からなる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 1 0】

D E A E デキストラン約 1 5 0 m g および免疫賦活複合体約 5 0 0 μ g からなる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 1 1】

免疫原およびアジュバント組成物からなり、そのアジュバント組成物が請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載された組成物である、免疫原性組成物。

【請求項 1 2】

免疫原が L H R H からなる、請求項 1 1 記載の免疫原性組成物。

【請求項 1 3】

免疫原が L H R H ジフテリアトキソイド接合体からなる、請求項 1 2 記載の免疫原性組成物。

【請求項 1 4】

イオン性多糖 5 ~ 5 0 0 m g および免疫賦活複合体 4 0 ~ 4 0 0 0 μ g 中に L H R H ジフテリアトキソイド接合体 5 ~ 5 0 0 μ g を含んでいる、請求項 1 3 記載の免疫原性組成物。

【請求項 1 5】

1 種以上の製薬上許容されるキャリアおよび / または希釈物と一緒に、請求項 1 1 ~ 1 4 のいずれか一項に記載された免疫原性組成物を含んでいる、医薬組成物。

【請求項 1 6】

請求項 1 1 ~ 1 4 のいずれか一項に記載された免疫原性組成物の有効量を動物に投与することからなる、動物で有効な免疫応答を働かせる方法。

【請求項 1 7】

動物で有効な免疫応答を働かせるための組成物の製造に関する、請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載されたアジュバント組成物の使用。